

新人歓迎会

4月4日桜が咲き誇る中、アクティ森にて新人歓迎会を開催しました。当日の様子を写真で紹介します。



新人の
看護師たち



先輩理学療法士と
新人の理学療法士、
作業療法士たち



新人看護師たちが
パターゴルフで
盛り上がっています



新人同士丸くなって
会話が弾んでいます

公立森町病院 経営改革への取り組み

平成20年度に経営改革プランを策定し、平成21年度から23年度までの3年間にわたり計画的に経営改革を進めていきます。主なものとしては次のような内容です。

◆ 回復期リハビリ病棟 (39床) の設置 (平成21年度)

一般病棟3病棟 (140床) のうち一つの病棟を回復期リハビリ病棟に転換する。急性期後の患者に集中的リハビリを行い寝たきり防止、日常生活動作向上、在宅復帰を図ることを目的とする。これにより病床利用率を向上させる。

現在
(140床)

1病棟 (45床)
一般病棟

2病棟 (48床)
一般病棟

3病棟 (47床)
一般病棟

今後
(132床)

1病棟 (45床)
一般病棟

2病棟 (48床)
一般病棟

3病棟 (39床)
回復期リハビリ病棟

◆ 外来・入院リハビリの充実

一階機能訓練室を拡大 (改修) し、外来患者及び一般病棟入院患者の機能回復、日常生活動作向上を図る。

◆ DPC (診断群分類別包括評価) の導入

一般病棟をDPC準備病院として要件整備する。(平成21年度) 他病院との診療内容の比較検討を行う。



DPC (診断群分類別包括評価)



DPCとは Diagnosis Procedure Combination の略で、主病名・処置・合併症などの因子を組み合わせた日本独自の新しい診断群分類です。この分類を用い、急性期入院医療に包括評価を導入するのが、DPCという制度です。

日本の急性期入院医療は、基本的には使ったもの・行ったことなどの診療行為毎に積み重ねる形で診療報酬が支払われる、出来高払いという支払い制度で行われてきました。

経営改革への取組については、今後年1回の委員会を開催し、実施状況についての点検評価を行い、公表していきます。